Hiramatsu

Hiramatsu Inc.

2027年3月期　第2四半期（中間期）決算説明

2026年11月12日

- 売上高は各事業とも前年同期・当初計画を上回り増収
- 新店の開業費用等を増収効果で吸収し、営業・経常損益は前年同期・計画とも改善
- 中間純損失は前年より拡大も、税金費用の影響を除く損益は改善し計画も超過

単位：百万円
※百万円未満は切り捨て

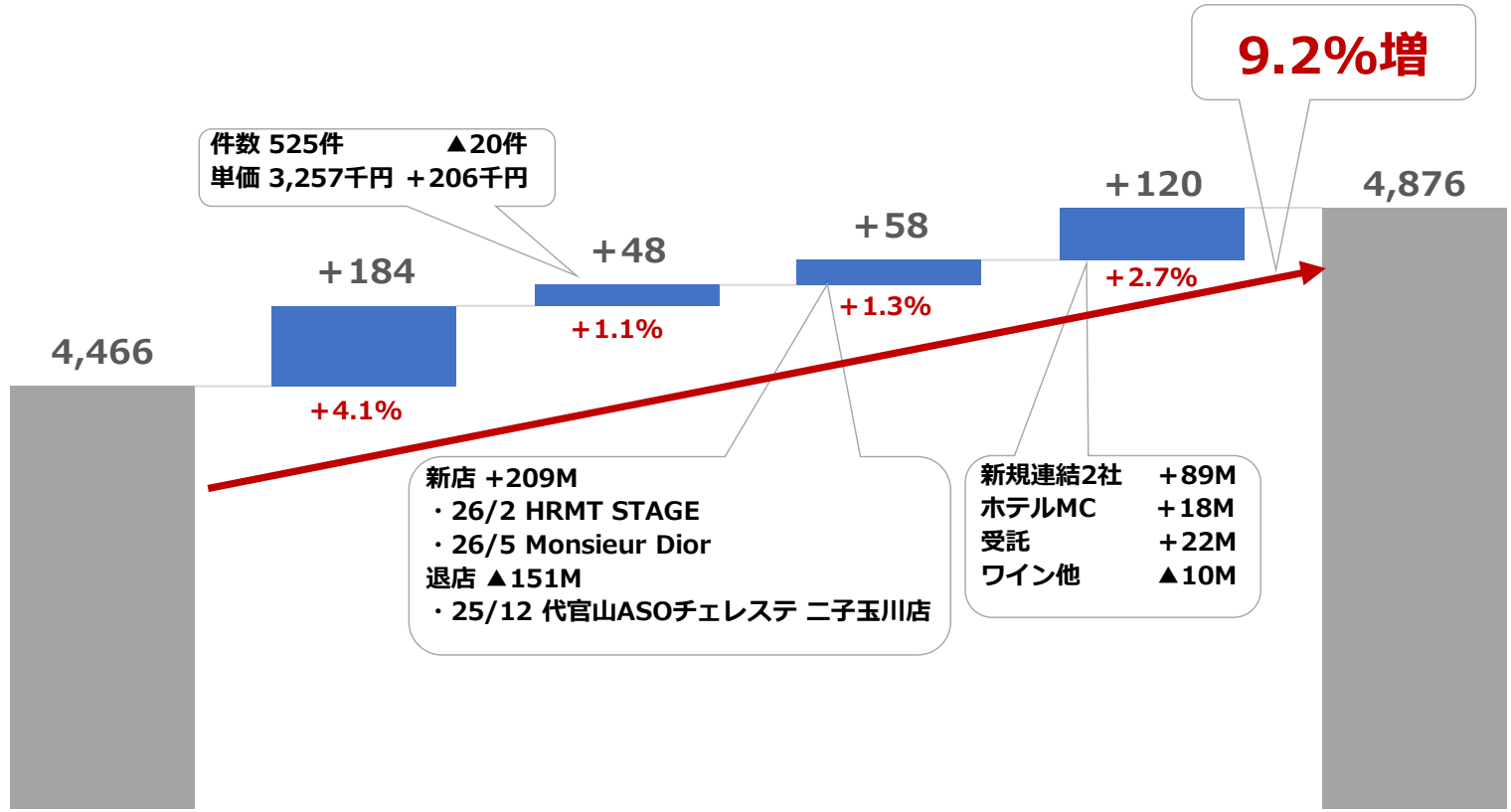
	27年3月期 2Q累計	26年3月期 2Q累計	前年同期比		当初計画	計画比	
売上	4,876	4,466	+410	+9.2%	4,804	+72	+1.5%
レストラン	2,809	2,566	+242	+9.4%	2,864	▲55	▲1.9%
ブライダル	1,732	1,684	+47	+2.8%	1,642	+89	+5.5%
その他	335	215	+119	+55.5%	298	+37	+12.6%
営業利益	▲48	▲66	+17	－	▲114	+65	－
経常利益	▲38	▲67	+28	－	▲121	+83	－
中間純利益	▲64	▲28	▲35	－	▲138	+74	－

※法人税等は前年同期△38百万円（繰延税金資産の計上による利益）に対し、当中間期は25百万円の費用計上

売上分析　前年同期比較

- 売上高は前年同期比9.2%増、既存店の増収と新規出店で退店影響を吸収
- レストランは既存店の客数増と新店2店の寄与で増収
- ブライダルは組数減少も、料飲や写真・衣裳等の提案強化で組単価上昇、増収
- その他は店舗運営受託の拡大、ホテル受託報酬の増加、新規連結2社で大幅増

単位：百万円

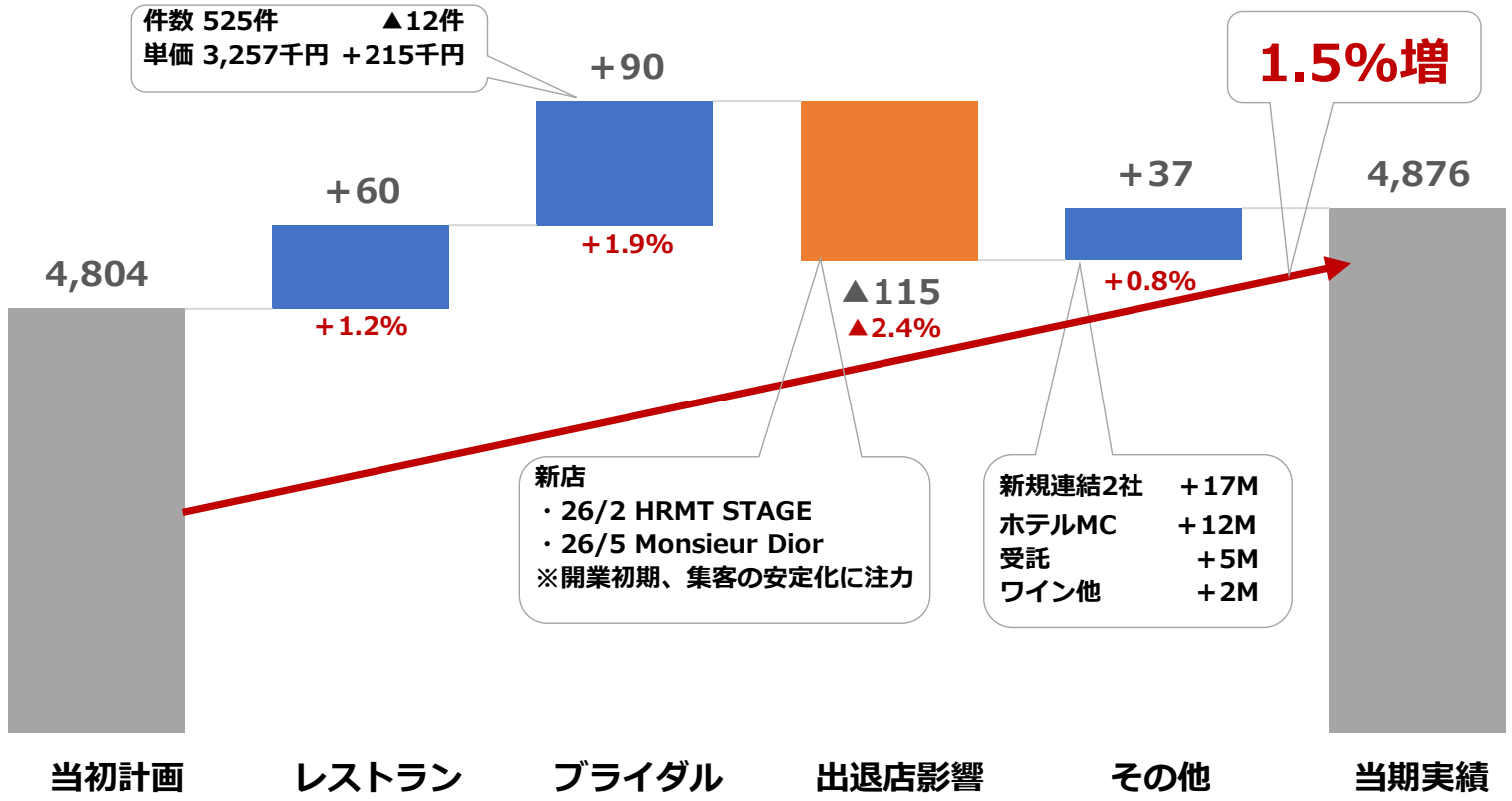


※新規連結2社：UNIVERSO（レストラン「Tharros（タロス）」運営、2026年4月連結）、にんじんハウス（洋菓子製造・販売、2026年9月連結）

売上分析　当初計画比較

- 売上高は計画比1.5%増、レストランの既存店とブライダルが牽引
- 既存店は客数増で計画超過、新店2店は認知度向上の途上で計画を下回る
- ブライダルは組数が計画を下回るも、組単価の上昇で計画超過
- その他はホテル運営受託報酬の上振れと新規連結の寄与で計画超過

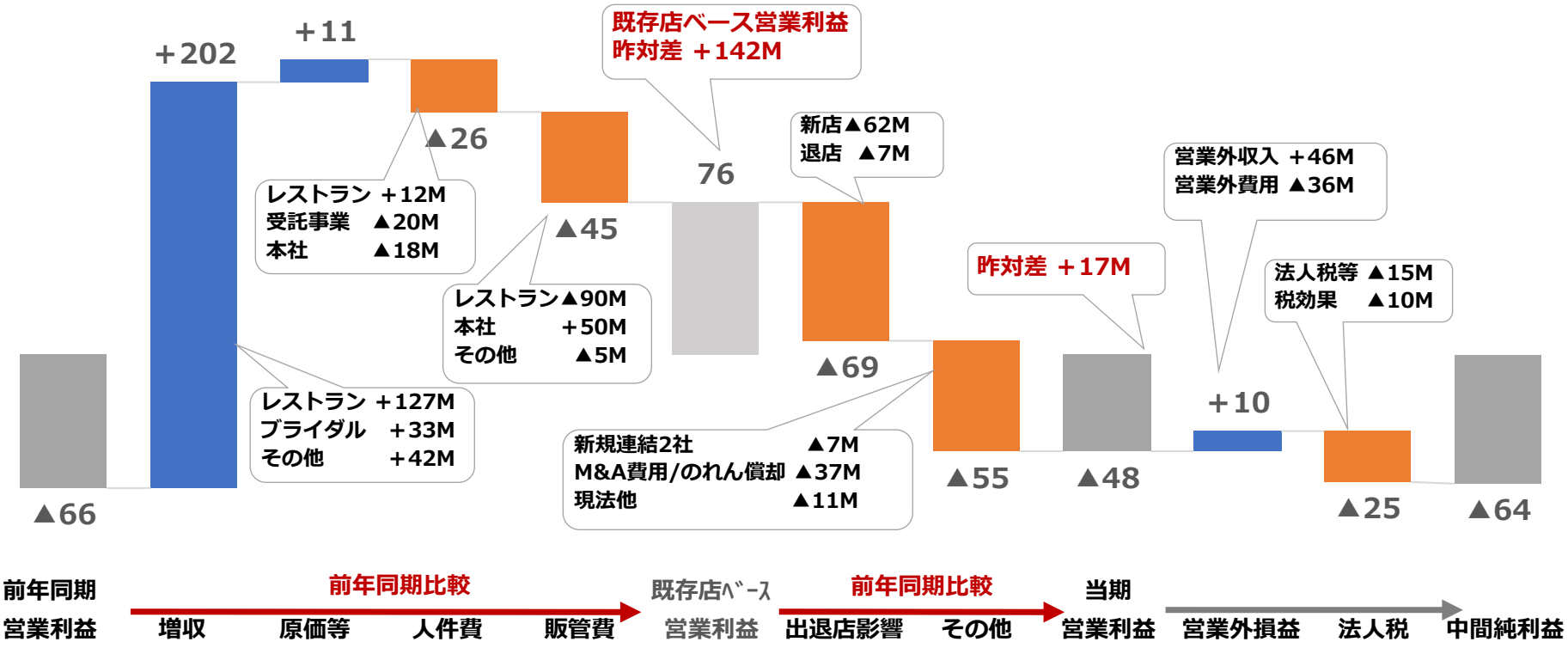
単位：百万円



損益構造分析　前年同期比較

- 増収効果が人件費・販管費の増加を上回り、既存店ベースで142百万円増益
- 新店の開業費用やM&A関連費用等を差し引き、営業損益は17百万円改善
- 中間純損失の拡大は税金費用の差によるもの

単位：百万円

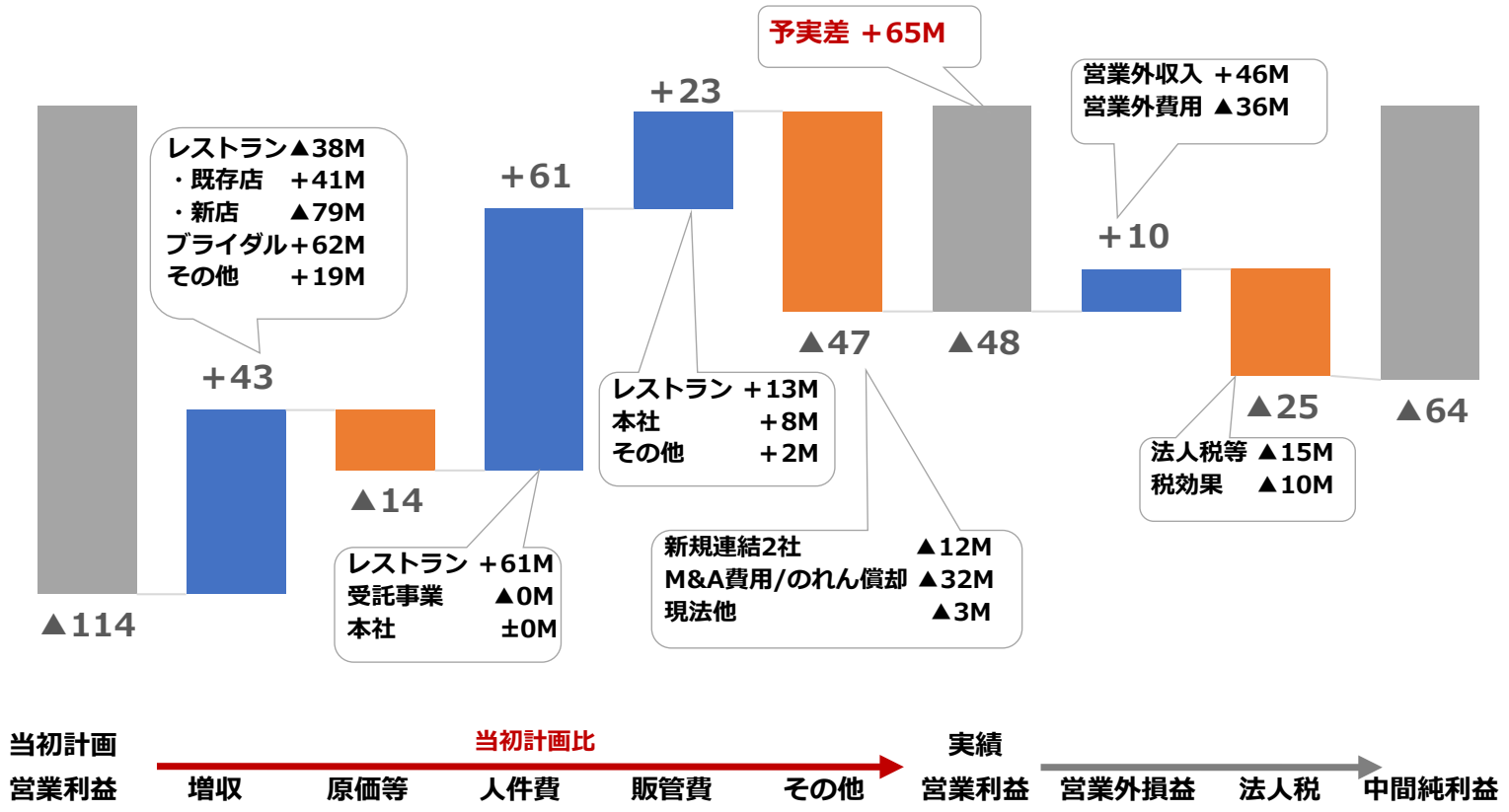


※既存店ベース営業利益：当期営業利益から出退店影響およびその他（新規連結2社、M&A関連費用・のれん償却、現法他）を除いたもの

損益構造分析　当初計画比較

- 既存店・ブライダルの増収と人件費の計画下振れで営業損益は65百万円改善
- 新店の売上未達やM&A関連費用・のれん償却も既存店等の上振れで吸収
- 営業外損益＋10百万円、法人税等▲25百万円により、中間純損失は64百万円

単位：百万円



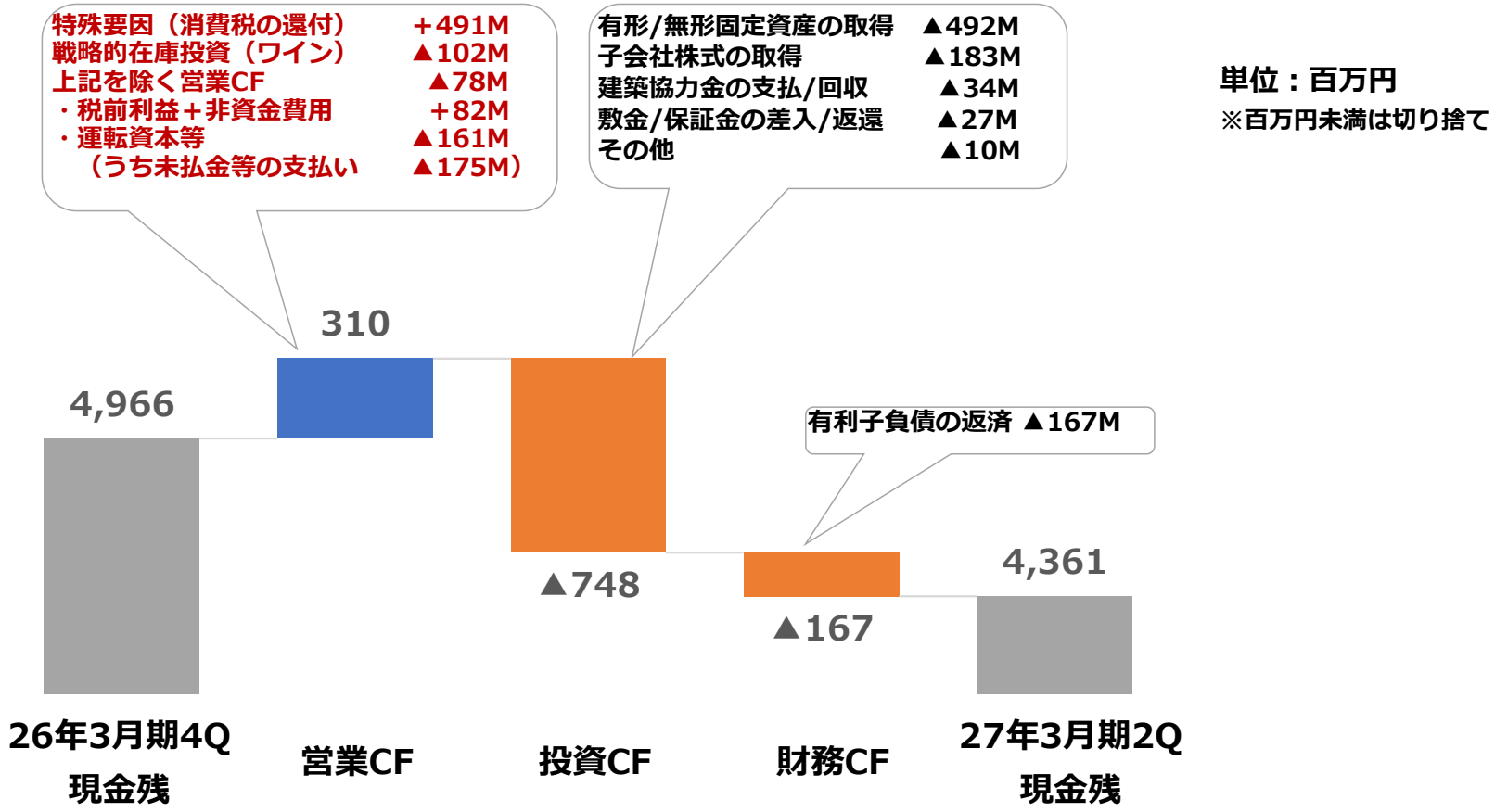
連結貸借対照表

- 消費税の還付で未収入金が減少、ワイン在庫の拡充で原材料が増加
- 新店・改装投資で有形固定資産が増加、M&Aによるのれんを計上
- 前期末の未払金支払と借入返済で負債が減少、自己資本比率は51.8%

	2027年3月期2Q	2026年３月期4Q	増減
資産	11,653	11,914	▲260
現預金	4,361	4,966	▲605
原材料及び貯蔵品	2,148	2,044	+103
未収入金	16	521	▲504
有形固定資産	2,540	2,187	+353
ソフトウエア仮勘定	48	0	+48
のれん	226	0	+226
負債	5,591	5,798	▲206
有利子負債	3,572	3,616	▲43
未払金・未払費用	635	807	▲172
純資産	6,062	6,116	▲53
利益剰余金	211	276	▲64
自己資本比率	51.8%	51.2%	+0.7%
ROA（総資産経常利益率）	▲0.3%	▲0.6%	+0.2%
ROE（自己資本経常利益率）	▲0.6%	▲1.1%	+0.5%

単位：百万円
※百万円未満は切り捨て
※ROA・ROEは前年同四半期との比較

- 営業CFは310百万円の収入
- 特殊要因等を除く▲78百万円は前期末の未払金等の支払が主因、償却前損益は黒字
- 投資CFは出店・改装投資と子会社株式の取得等により748百万円の支出
- 財務CFは借入返済で167百万円の支出、期末現金残高は4,361百万円



※特殊要因等：消費税の還付（前期にホテル資産売却に伴い支払った仮受消費税の戻り）およびワイン在庫投資

2027年3月期の連結業績予想は、2026年5月14日公表の当初予想から変更せず。

上期は計画を上回って推移し、通期でも前年を上回る見込みで当初予想を上回る可能性があるが、
当社グループは第3四半期に利益が集中する傾向にあり、
新規出店店舗の開業後の業績動向など不確実な要素もあることから、
繁忙期である第3四半期の実績を踏まえて精査し、修正が必要となった場合には速やかに開示予定。

単位：百万円
※百万円未満は切り捨て

	27年3月期 通期			【参考】27年3月期 2Q				
	当初計画	前期比		実績	前期比		計画比	
売上高	10,591	+710	+7.2%	4,876	+410	+9.2%	+72	+1.5%
営業利益	341	+141	+70.4%	▲48	+17	－	+65	－
経常利益	321	+117	+57.6%	▲38	+28	－	+83	－
当期（中間）純利益	288	+68	+31.1%	▲64	▲35	－	+74	－

※中間期の予想と実績の差異は、本日公表の「業績予想と実績の差異に関するお知らせ」をご参照ください。

Hiramatsu

Hiramatsu Inc.

免責事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。